

第2 大気中の放射線の測定

1 目的

大田区では東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故を受け、放射線をめぐ
る区民の不安に応えるため、平成23年度より区内の定点で測定を行っている。

2 測定方法

(1) 測定地点

大田区蒲田五丁目35番1号（本蒲田公園）

(2) 測定方式及び測定頻度

シンチレーションサーベイメータ式放射線測定器を用いて、測定地点の地上
100cm、50cm、5cmの大気中の放射線（空間放射線量率）を測定する。30秒間隔で
計5回の平均を測定値とした。測定は月に1度の頻度で行った。

3 測定結果

(1) 令和6年度

測定結果を表に示す。年間を通して $0.05\sim0.08\mu\text{Sv}$ （マイクロシーベルト）/h（時）
を推移しており、季節、天気、地表からの高さ、いずれにおいても結果に影響は見
られなかった。

表 空間放射線量率の測定結果

単位： $\mu\text{Sv/h}$

測定日	天気	地表からの高さ			測定日	天気	地表からの高さ		
		100cm	50cm	5cm			100cm	50cm	5cm
令和6年4月2日	晴れ	0.06	0.06	0.06	10月1日	曇り	0.06	0.06	0.06
5月8日	曇り	0.05	0.06	0.07	11月5日	晴れ	0.06	0.06	0.05
6月4日	晴れ	0.06	0.06	0.06	12月3日	晴れ	0.06	0.06	0.06
7月2日	晴れ	0.06	0.06	0.06	令和7年1月7日	曇り	0.05	0.06	0.05
8月5日	曇り	0.06	0.07	0.06	2月4日	晴れ	0.06	0.06	0.06
9月4日	晴れ	0.06	0.05	0.06	3月4日	曇り	0.06	0.07	0.08

(2) 経年変化

測定を開始した平成23年度から令和6年度まで、100cmでは $0.03\sim0.07\mu\text{Sv/h}$ 、
10cmでは $0.05\sim0.08\mu\text{Sv/h}$ 、5cmでは $0.05\sim0.09\mu\text{Sv/h}$ で推移している。

<基準の目安>

国際放射線防護委員会2007年勧告より、国は長期的な目標として平常時の追加被ばく
線量を年間1mSv以下としている。この値から換算した1時間当たりの空間放射線量率は
 $0.23\mu\text{Sv/h}$ であり、区の測定結果は、いずれも基準の目安を下回っていた。